

進路通信

R5. 6. 15
No. 2

地域連携とキャリア教育

利尻中学校では、職場体験や上級学校訪問、社会人講話を活用し、社会や地域と連携しながらキャリア教育を進めています。また、体験的な学びだけでなく、各教科、総合的な学習の時間、道徳など学校の教育活動全体を通じて、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力・態度を育む取り組みを行っています。

キャリア教育の目的は、自分らしい生き方を実現するための力を育むこと。今回は、利尻町で活躍する社会人から「生き方」や「進路」、「職業」について学ぶ生徒の姿を紹介します。



写真左上：1年家庭科「栄養」町役場保健課から主任管理栄養士の出前授業。保健指導係の講師の話。

写真右上：2年総合「福祉」高齢者疑似体験の前に、町役場保健課地域包括センターの社会福祉士さんや介護支援専門員の講師から、今の仕事に携わるきっかけをお話いただきました。



3年総合「進路」町役場の方々や、医療現場で活躍される方々から、現場の声や仕事のやりがいなど、今の中学3年生の生活や進路選択に直結する話を伺いました。

授業の詳細は、利尻中学校 HP「利中日記」「0602 3年生総合「進路学習」」、「0606 3年生総合「進路学習」2」に掲載されています。

進路情報

「令和5年度 進路説明会資料」より抜粋

令和6年度 入試に関わる日程

- ① 【公立高校】 推薦入学面接日 令和6年 2月13日（火）
学力検査日 令和6年 3月5日（火）
合格発表日 令和6年 3月18日（月）
- ② 【私立高校】 A日程：令和6年 2月15日（木）16日（金）
B日程：令和6年 2月20日（火）21日（水）
- ③ 【国立高等専門学校】
推薦入学試験日 令和6年 1月中旬頃（仮）
学力検査日 令和6年 2月11日（日）
合格発表 令和6年 2月下旬頃（仮）

★ 最大で、「高専」「私立A日程の学校」「私立B日程の学校」「公立高校」の4つの区分で受験することが可能。

今年度の推薦入試

（1）令和4年より、公立高校の推薦入試の方式が「自己推薦」となりました。そのため、公立・私立高校共に利尻中学校としての推薦基準は設けませんので、生徒本人を含めたご家庭で各学校が示す「スクールポリシー」や「推薦基準」をご確認下さい。そのうえで、学級担任に申し出ていただき、三者面談を経て推薦出願をすることになります。

（2）志望校へ出願する際に「自己推薦書」等の自己PR書類の作成が必要になる場合があります。書類を作成するにあたり、学級担任との三者面談のなかで「スクールポリシー」や「推薦基準」の確認を丁寧に行います。それを受けて生徒本人が自己推薦書等の作成を行います。

書類の内容につきましては、生徒本人や家庭の思いがそのまま反映されるよう、原則ご家庭でサポートをしていただきながら作成を進めていくことになります。

※学校は誤字脱字等の不備の有無を確認します。

地域連携を通したキャリア教育の今・これから

進路通信第2号では、地域連携を通したキャリア教育の実践と、進路情報を紹介しました。

中学校は、小学校よりも多くの他者に関わり、自分の生き方を模索する時期です。また、受験を目の前に、現実的な選択を求められるという難しい時期でもあります。

利尻中学校のキャリア教育は、1年生の段階から地域の人材を活用することで、多くの幅広い人生の先輩と出会い、具体的な社会人像を描くことにつなげていきます。授業や体験で出会う地域の方々から、生徒は生の情報を得ることができます。さらに、出会う職業や生き方を身近に感じ、具体的な将来像をイメージすることにもつながっていきます。皆様の協力のおかげで、学校の教育活動がより豊かになっていることに改めて感謝申し上げます。引き続き、利尻中学校の教育活動へのご理解とご協力、どうぞよろしくお願いいたします。